

◎第 11 回理事会 (43.4.26) 出席者：富樫会長、仁杉、松見各副会長、羽田専務理事、栗田、伊藤、飯吉、川崎、神田、米谷、堺、高石、福山、横道、渡辺(豊)の各理事。議事録署名理事の決定：富樫会長、羽田専務理事、高石理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された；1) 各種委員会、その他報告。2) 昭和 42 年度第 1 回定例評議員会報告。B. 協議事項：1) 昭和 42 年度土木学会賞ならびに吉田研究奨励金の選考結果について。2) 次期役員について。3) 名誉会員推挙候補者について。4) 視聴覚教育委員会設置に関する(仮称)内規(案)ならびに土木書図書館運営委員会の廃止について協議し承認した。5) 岩の力学研究連合委員会内規について。6) 科学研究補助金の運用上の改善策の実施に伴う経緯について。7) その他。8) 委員の委嘱について

① 原子力土木技術委員会

- 委員長 左合 正雄 東京立大学  
 委員 角谷 省三 KK在原発作所  
 高橋 幹二 京都大学  
 井上 頼輝 京都大学  
 筒井 天寿 京都大学  
 久保慶三郎 東京大学  
 松尾 友矩 東京大学  
 寺島 泰 金沢大学  
 長山 泰介 日本原子力研究所  
 深沢 誠一 日本原子力研究所  
 渡部与四郎 建設省都市局  
 村田 二郎 東京立大学  
 永倉 正 電力中央研究所  
 千秋 信一 電力中央研究所  
 藤原 良治 電源開発KK  
 富樫 利男 中部電力KK  
 栗村 滋雄 東北電力KK  
 瀬山 明 関西電力KK  
 小野 章 東京電力KK  
 植松 邦彦 動力炉核燃料開発事業団  
 舟木 満夫 三井建設KK  
 真鍋 恭平 日本原子力発電KK  
 山田 祥一 鹿島建設KK  
 岸 清 東京電力KK

② 岩盤力学委員会

- 委員長 岡本 舜三 東京大学  
 副委員長 畑野 正 電力中央研究所  
 委員 浅尾 格 電源開発KK  
 吉越 盛次 電源開発KK  
 水越 達雄 東京電力KK  
 田代 信雄 九州電力KK  
 吉田 登 関西電力KK  
 野瀬 正儀 関西電力KK  
 伊藤 剛 電力中央研究所  
 田中 治雄 電力中央研究所  
 粕谷 逸男 日本鉄道建設公団  
 阪西徳太郎 水資源開発公団  
 嶋 祐之 埼玉大学

- 委員 星笠 和 東京大学  
 最上 武雄 東京大学  
 村山 朔郎 京都大学  
 川崎 精一 建設省河川局  
 豊田 栄一 建設省道路局  
 福岡 正巳 建設省土木研究所  
 島田 隆夫 国鉄建設局  
 木村 保 日本道路公団  
 川本 眺万 名古屋大学  
 岡 行俊 京都大学  
 八木 則男 京都大学  
 石原 研而 東京大学  
 色部 誠 秋田大学  
 荒井 治 建設省河川局  
 飯島 弘 建設省土木研究所  
 岡本 隆一 建設省土木研究所  
 村上 良丸 建設省土木研究所  
 吉中竜之進 建設省土木研究所  
 峰本 守 国鉄建設局  
 吉川 恵也 国鉄建設局  
 谷内田昌熙 国鉄山陽新幹線建設部  
 仲野 良紀 農林省農業土試験所  
 内田 聡吉 日本鉄道建設公団  
 今西 誠也 日本道路公団  
 駒井 敷 水資源開発公団  
 渡辺 貞夫 水資源開発公団  
 山口 登 水資源開発公団  
 緒方 正慶 電力中央研究所  
 井上 康夫 電力中央研究所  
 福竹 養造 電源開発KK  
 松村 義昭 電源開発KK  
 御牧 陽一 東京電力KK  
 藤井 敏夫 東京電力KK  
 比企野昭一 中部電力KK  
 宮口 友延 中部電力KK  
 近藤 信昭 関西電力KK  
 青野 忠 四国電力KK  
 溝口 且元 KK新日本技術コンサル  
 武内 俊昭 KK応用地質調査事務  
 高野 稔 八千代エンジニアリン  
 永峰 良則 八千代エンジニアリン  
 津垣 昭夫 鹿島建設KK  
 梅田 貞夫 鹿島建設KK  
 桑原 力 前田建設KK  
 松尾 英夫 KK熊谷組  
 堀 和夫 建設省河川局  
 高橋 彦治 国鉄鉄道技術研究所  
 林 正夫 電力中央研究所  
 北原 義浩 電力中央研究所  
 柴田 功 建設省土木研究所  
 水江 征捷 電源開発KK  
 小林 芳正 国鉄鉄道技術研究所  
 日比野 敏 電力中央研究所  
 山本 稔 東京立大学  
 安江 朝光 建設省土木研究所
- 委員兼主査 堀 和夫 建設省  
 色部 誠 秋田大学  
 荒井 治 建設省  
 飯島 弘 建設省  
 岡本 隆一 建設省  
 駒井 敷 水資源開発公団  
 渡辺 貞夫 水資源開発公団  
 山口 登 水資源開発公団  
 緒方 正慶 電力中央研究所  
 井上 康夫 電力中央研究所
- 委員兼幹事 柴田 功 建設省土木研究所  
 水江 征捷 電源開発KK  
 小林 芳正 国鉄鉄道技術研究所  
 日比野 敏 電力中央研究所  
 山本 稔 東京立大学  
 安江 朝光 建設省土木研究所

第 1 分科会 (ダム)

- 主査 堀 和夫 建設省  
 委員 色部 誠 秋田大学  
 荒井 治 建設省  
 飯島 弘 建設省  
 岡本 隆一 建設省  
 駒井 敷 水資源開発公団  
 渡辺 貞夫 水資源開発公団  
 山口 登 水資源開発公団  
 緒方 正慶 電力中央研究所  
 井上 康夫 電力中央研究所

- 委員 福竹 養造 電源開発  
 松村 義昭 電源開発  
 藤井 敏夫 東京電力  
 比企野昭一 中部電力  
 宮口 友延 中部電力  
 近藤 信昭 関西電力  
 溝口 且元 新日本技術コンサル  
 高野 稔 八千代エンジニアリン  
 永峰 良則 八千代エンジニアリン  
 津垣 昭夫 鹿島建設  
 桑原 力 前田建設工業  
 松尾 英夫 熊谷組  
 柴田 功 建設局  
 水江 征捷 電源開発  
 小林 芳正 国鉄
- 幹事 高橋 彦治 国鉄  
 岡 行俊 京都大学  
 村上 良丸 建設省  
 峰本 守 国鉄  
 吉川 恵也 国鉄  
 谷内田昌熙 国鉄  
 小林 芳正 国鉄  
 内田 聡吉 日本鉄道建設公団  
 今西 誠也 日本道路公団  
 御牧 陽一 東京電力  
 青野 忠 四国電力  
 日比野 敏 電力中央研究所
- 第 2 分科会 (トンネル)  
 主査 高橋 彦治 国鉄  
 委員 岡 行俊 京都大学  
 村上 良丸 建設省  
 峰本 守 国鉄  
 吉川 恵也 国鉄  
 谷内田昌熙 国鉄  
 小林 芳正 国鉄  
 内田 聡吉 日本鉄道建設公団  
 今西 誠也 日本道路公団  
 御牧 陽一 東京電力  
 青野 忠 四国電力  
 日比野 敏 電力中央研究所
- 第 3 分科会 (理論)  
 主査 林 正夫 電力中央研究所  
 委員 川本 眺万 名古屋大学  
 八木 則男 京都大学  
 石原 研而 東京大学  
 飯田 隆一 建設省  
 吉中竜之進 建設省  
 仲野 良紀 農林省  
 武内 俊昭 応用地質調査事務所  
 梅田 貞夫 鹿島建設  
 北原 義浩 電力中央研究所  
 山本 稔 都立大学  
 安江 朝光 建設省
- ③ 橋梁構造委員会 英文耐震規定改訂小委員会  
 委員長 友永 和夫 KK横河橋梁製作所  
 平井 敦 東京大学  
 久保慶三郎 東京大学  
 多田 安夫 建設省土木研究所  
 上前 行孝 首都高速道路公団  
 池田 康平 日本鉄道建設公団  
 河野 通之 日本交通技術KK  
 鈴木 俊男 東京都  
 栗原 利榮 日本道路公団  
 田村 浩一 国鉄構造物設計事務所  
 吉田 巖 建設省土木研究所  
 小寺 重郎 八千代エンジニアリン  
 山根 孟 建設省  
 田島 二郎 国鉄構造物設計事務所  
 大地 羊三 法政大学  
 猪股 俊司 KK日本構造橋梁研究  
 所  
 下川 浩寅 建設省  
 近藤 時夫 国鉄構造物設計事務所
- ④ プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会  
 委員長 園分 正胤 東京大学  
 副委員長 河野 通之 日本交通技術KK  
 設計主査 猪股 俊司 KK日本構造橋梁研究  
 所

施工主査	樋口 芳朗	国鉄鉄道技術研究所
総幹事委員	尾坂 芳夫	国鉄構造物設計事務所
	阿部 博俊	電力中央研究所
	青戸 章	国鉄鉄道技術研究所
	赤塚 雄三	運輸省港湾技術研究所
	伊東 茂富	建設省土木研究所
	池田 康平	日本鉄道建設公団
	池田 哲夫	日本道路公団
	岩崎 訓明	東洋大学
	上前 孝行	首都高速道路公団
	大西 清治	KKオリエンタルコンクリート
	岡田 清	京都大学
	岡村 甫	東京大学
	神山 一	早稲田大学
	原 利栄	日本道路公団
	国広 哲男	建設省土木研究所
	小寺 重郎	八千代エンジニアリングKK
	後藤 幸正	東北大学
	小林 一輔	東京大学
	小林 正几	法政大学
	近藤 時夫	国鉄構造物設計事務所
	堺 毅	日本大学
	白木 良昭	ビーエスココンクリートKK
	菅原 操	国鉄東京第三工事局
	杉木 六郎	日本コンクリート工業KK
	鈴木 慶一	東京電力KK
	清野 茂次	KKオリエンタルコンサルタンツ
	高橋 国一郎	建設省道路局
	只野 直典	大成建設KK
	丹 泰美	建設省土木研究所
	津野 和男	首都高速道路公団
	土岐 高史	小野田セメントKK
	長瀬 重義	東京工業大学
	中野 孝行	建設省道路局
	仁杉 巖	
	西亀 達夫	国鉄構造物設計事務所
	西沢 紀昭	中央大学
	野口 功	日本鉄道建設公団
	原 道彦	川崎製鉄KK
	藤井 嘉夫	神戸大学
	藤田 嘉夫	北海道大学
	船越 稔	広島大学
	松野 操平	建設省建設大学校
	松本 嘉司	東京大学
	南 俊次	阪神高速道路公団
	宮崎 義成	極東鋼管コンクリート振興KK
	宮田 尚彦	国鉄構造物設計事務所
	宮地 清	北海道ビーエスココンクリートKK
	村田 二郎	東京都立大学
	百島 裕信	鹿島建設KK
	山崎 寛司	日本セメントKK
	山本 強	日本鉄道建設公団
	横道 英夫	北海道大学
	吉田 弥智	名古屋工業大学
	渡辺 明	九州工業大学
	割沢 善雄	国鉄鉄道技術研究所

⑥ 海岸工学委員会

委員	千秋 信一	電力中央研究所
	佐藤 清一	日本建設コンサルタンツKK
	新妻 幸雄	KK日本港湾コンサルタント

⑥ トンネル工学委員会

委員	前田 弘	東京電力KK
----	------	--------

◎第1回定例評議委員会 (43.3.27)

出席者：(北海道)小川、(東北)戸津、(関東)大久保、大地、金沢、川瀬、小池、堺、横田、小栗、平岡、前島、耳野、村上、(中部)小野、片岡、長坂、(関西)明石、三野、岩垣、川島、小松、中平、三瀬(中国四国)小林、山下、(西部)長谷川の各評議員、別に委任状50通 計77名。理事者 松見副会長、羽田専務理事。記事：会長挨拶：富樫会長入院加療中のため松見副会長、会長代理として開会の挨拶を行なう。議長選任：会長代理の指名により横田周平氏を満場一致選任。議事録署名者の決定：横田議長、大久保、小栗両評議員。議事：1)昭和43年度事業計画案を承認。2)昭和43年度予算案を承認。3)土木学会役員候補者選考内規の一部改正について。4)昭和42年度第2回定例評議員会開催について。5)その他。

◎各種委員会

(1) 論文集編集委員会第1部会 (43.3.14)

出席者：西村委員長、ほか7名。議事：1)査読報告。2)委員交代の件。3)その他。

(2) 原子力土木技術委員会打合せ (43.3.14)

出席者：左合委員長、ほか4名。議事：使用済み燃料の再処理工場の低レベル放射性廃液の海洋放出に関する設計の検討。

(3) 第2回中海干拓事業水理特別委員会 (43.3.15)

出席者：速水委員長、ほか12名。議事：1)水理模型実験について。2)干拓背後地の湿田化防止について。3)その他。

(4) 岩盤力学委員会第1分科会 (43.3.15)

出席者：関係者11名。議事：1)講演「地山の崩壊防止に関するヨーロッパにおける地質的調査・研究の状況について」電力中研 井上康夫氏。2)岩石サンプル収集について。3)岩の力学研究連合委員会設置について。4)国際岩の力学学会について。5)次期委員会の運営について。

(5) 岩盤力学委員会第3分科会 (第11回) (43.3.15)

出席者：山本主査、ほか6名。議事：1)岩盤の現地強度と変形係数の相関関係に関する資料のとりまとめ。2)岩石サンプル収集について。3)岩の力学研究連合委員会設置について。4)国際岩の力学学会について。5)次期委員会の運営について。

(6) 岩盤力学委員会第3回運営委員会 (43.3.15)

出席者：岡本委員長、色部幹事長、ほか5名。議事：1)経過報告。2)岩石サンプル収集について。3)次期委員会の運営方法および委員会構成について。4)岩の力学研究連合委員会設置に

ついて。5)国際岩の力学学会について。

(7) 出版企画委員会測定編集小委員会 (43.3.15) 出席者：高田委員長、ほか9名。議事：1)今後の作業日程の件。2)付録記事編集の件。3)夏期講習会の件。

(8) 昭和42年度役員候補者選考委員会 (43.3.18) 出席者：関係者23名。議事：昭和43年度役員候補者の推薦について。

(9) 第2回論文賞選考委員会幹事会 (43.3.19) 出席者：岡本委員長、ほか8名。議事：1)審査員判定結果の開封と集計。2)予選の方法(案)作成。

(10) 第6回トンネル工学委員会設計小委員会 (43.3.21) 出席者：伊吹山委員長、ほか15名。議事：現示方書「第34条 くさび〜第47条 覆工の形状」まで審議検討。

(11) 第2回吉田賞選考委員会 (43.3.21)

出席者：篠原委員長、園分副委員長、ほか12名。議事：1)委員長挨拶。2)経過報告。3)①予選について、②予選の方法について、③決選に付すべき候補論文の決定、④決選の方法について。4)吉田研究奨励金授与者の選定。5)第3回委員会について。6)吉田博士記念事業会計。

(12) 第2回鋼鉄道橋方書委員会 (43.3.21)

出席者：沼田委員長、ほか22名。議事：42年度報告書原案の審議：①許容応力度、②部材の幅厚比、③溶接継手。

(13) 第2回論文賞選考委員会 (43.3.22)

出席者：岡本委員長、西村副委員長、ほか15名。議事：1)経過報告。2)前回議事録の確認。3)審査員判定結果総括報告。4)決選に付す候補論文の決定。5)決選投票の方法。6)第3回委員会について。

(14) 大学土木教育委員会第14回幹事会 (43.3.22)

出席者：林委員長、高橋幹事長、ほか8名。議事：1)大学卒業生の量的需要に関するアンケートについて。2)シンポジウム開催について。

(15) 第117回耐震工学委員会 (43.3.22)

出席者：那須委員長、ほか6名。議事：1)軟弱地盤耐震設計研究委員会について。2)地震工学研究発表会開催について。3)英文耐震規定改訂について。4)今後の委員会運営(構成、内規等)について。

(16) 土木年鑑編集委員会幹事会 (43.3.23)

出席者：八十島委員長、片山副委員長、ほか4名。議事：1)1969年版作業日程の件。2)1969年版目次の件。3)委員交代の件。4)その他。

(17) 第2回表彰委員会(43.3.25)出席者:酒井副委員長,ほか13名。議事:1)経過報告。2)前回議事録の確認。3)功績,技術両賞予選結果の報告。3)功績,技術両賞の決選に付す候補の決定。5)決選の方法について。6)来年度委員会で検討すべき事項。

(18) コンクリート鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究委員会(43.3.25)出席者:国分委員長,ほか22名。議事:コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準(案)第二次案の逐条審議。

(19) 下水道雨水流出量に関する研究小委員会(43.3.25)出席者:合田委員長,ほか6名。議事:下水道雨水流出量に関する研究小委員会昭和42年度報告書の検討を行なった。

(20) 衛生工学委員会(43.3.26)出席者:板倉委員長,ほか15名。議事:1)前回議事録の確認。2)下水道雨水流出量に関する研究小委員会報告。3)第3回衛生工学シンポジウムについて。

(21) 下水道雨水流出量に関する研究小委員会(43.3.26)出席者:合田委員長,ほか7名。議事:下水道雨水流出量に関する研究小委員会昭和42年度報告書の検討を行なった。

(22) 第19回原子力土木技術委員会(43.3.27)出席者:左合委員長,ほか9名。議事:1)第5回理工学における同位元素研究発表会開催について。2)海洋放出の問題について。3)次期委員会構成および運営方針について。

(23) PC工法小委員会(レオンハルト・レオパ工法)(43.3.28)出席者:国分委員長,河野主査,ほか13名。議事:1)レオパ工法設計施工指針(案)第1次案の逐条審議。2)レオンハルト工法設計施工指針(案)の参考資料について。

(24) 橋梁構造委員会第1回英文耐震規定改訂小委員会(43.3.28)出席者:友永委員長,ほか7名。議事:1)経過説明。2)運営,作業方法について(橋梁部門(上・下部)のとりまとめ方法)。

(25) 空港舗装研究委員会(43.3.29)出席者:国分委員長,谷藤副委員長,ほか18名。議事:1)新東京国際空港の舗装に関する研究(報告書)の説明および質疑。2)委員会開会に伴う挨拶。

(26) 会誌編集委員会特集打合せ(43.3.29)出席者:関係者16名。議事:1)会誌53巻6号特集「建設機械」編集方針の件。2)同特集目次・内容の件。3)その他。

(27) 海岸工学委員会(43.3.29)出席

者:本間委員長,ほか19名。議事:1)第5回水工学夏期研修会開催について。2)第13回国際水理学会議開催について。3)海岸工学関係刊行物の頒布状況について。4)Coastal Engineering in Japanについて。5)第15回海岸工学講演会開催について。6)海岸保全施設設計便覧(改訂版)執筆について。7)今後の運営方法について。

(28) 第3回田中賞選考委員会(43.4.1)出席者:福田委員長,平井副委員長,ほか9名。議事:1)前回議事録の確認。2)作品部門内容説明。3)作品部門の予選。4)作品部門の決選の方法について。5)論文部門の決選の方法について。6)次回最終委員会について。

(29) 文献調査委員会(43.4.4)出席者:松本委員長,ほか11名。議事:1)会誌53巻6号登載抄録の決定。2)解説記事について。3)委員交代について。

(30) 会誌編集小委員会(43.4.5)出席者:増岡委員長,ほか8名。議事:1)会誌53巻7号編集の件。2)会誌原稿審査の件。3)委員交代の件。4)その他。

(31) 岩盤力学運営委員会(43.4.5)出席者:畑野副委員長,色部幹事長,ほか6名。議事:1)経過説明。2)昭和42年度事業報告,会計報告について。3)昭和43年度事業計画案,予算案および委員構成について。

(32) 第1回吉田賞選考委員会研究奨励金小委員会(43.4.8)出席者:国分委員長,ほか6名。議事:昭和42年度吉田研究奨励金候補選定および内定。

(33) 視聴覚教材の活用に関する懇談会(43.4.8)出席者:関係者8名。議事:視聴覚教材および委員会組織について懇談した。

(34) 第3回吉田賞選考委員会(43.4.8)出席者:篠原委員長,国分副委員長,ほか9名。議事:1)前回議事録の確認。2)吉田賞決選投票の開票前の審議。3)開票ならびに内定。4)吉田研究奨励金小委員会報告。5)来年度委員会構成ならびに運営について。6)41年度研究奨励金被授与者の研究報告。7)授賞経過報告の作成。8)その他;①申し送り事項,②44年度奨励金の研究課題(要望課題)の決定。

(35) トンネル工学に関するシンポジウム打合せ(米國班)(43.4.8)出席者:関係者12名。議事:トンネル工学に関するシンポジウム米國班,原稿作成打合せ。

(36) トンネル工学委員会運営委員会(43.4.9)出席者:住友委員長,坂本副委

員長,ほか14名。議事:1)国鉄委託“新しい道工の合理的設計・施工の基本的研究”報告書について。2)示方書改訂シールド指針制定のため賛助金の募金について。3)第4回トンネル工学に関するシンポジウム開催について。4)Tunnel and Shaft Conferenceについて。5)欧米視察団賛助会社への礼状。6)その他。

(36) 出版企画委員会幹事会(43.4.9)出席者:春日屋委員長,堺副委員長,山本幹事長,ほか3名。議事:1)土木学会推薦図書制度の件の取扱いについて。2)出版企画委員会の今後の方針について;①内規の改正案,②昭和43年度委員会の構成,③運営の方法,④昭和43年度委員会予算について。3)昭和43年度出版物の収支予算について。4)その他。

(37) 会誌編集委員会書評小委員会(43.4.10)出席者:新谷委員長,ほか4名。議事:1)経過報告。2)受付図書審査。3)会誌53巻5号登載書評。4)ブックガイド計画協議。5)その他。

(38) トンネル工学に関するシンポジウム打合せ(欧州班)(43.4.11)出席者:関係者6名。議事:トンネル工学に関するシンポジウム欧州班原稿作成の打合せ。

(39) PC工法小委員会(レオパ工法見学会)(43.4.11)出席者:関係者11名。議事:レオパ工法(鋼線加工,緊張作業)の見学。

(40) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会打合せ(43.4.12)出席者:関係者5名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂小委員会運営について。

(41) トンネル工学委員会土圧小委員会(43.4.12)出席者:村山委員長,ほか7名。議事:1)トンネルの土圧に関する測定実績表の作成。2)建設省関係土圧に関する資料説明。3)トンネル土圧算定のための鋼アーチ支保工における一測定法(京大大学院 松岡氏より説明)。

(42) 第2回土木計画学研究委員会幹事勉強会(43.4.13~14)出席者:八十島幹事長,ほか15名。議事:1)第1,2回土木計画学シンポジウムの整理と反省。2)今後のシンポジウムのあり方。3)第3回および今後のシンポジウムの課題の検討。4)その他。

(43) 土木計画学研究委員会幹事会(43.4.14)出席者:八十島幹事長,ほか9名。議事:1)第2回土木計画学委員会幹事勉強会報告。2)第1回土木計画学講習会の件。3)第3回土木計画学シンポジウムの件。4)その他。

(44) 第3回論文賞選考委員会 (43.4.15) 出席者: 岡本委員長, ほか18名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 開票前の事前審議。3) 決選投票の開票。4) 受賞者の内定および表彰委員会への報告。5) 来年度委員会構成および運営について。6) 来年度の申し送り事項。

(45) フライアッシュ小委員会打合せ (43.4.15) 出席者: 長滝委員兼幹事。議事: フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発錆に関する長期研究(2年試験)の報告書取りまとめ。

(46) 第4回田中賞選考委員会 (43.4.16) 出席者: 福田委員長, 平井副委員長, ほか10名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 論文部門・作品部門決選投票事前審議。3) 論文部門・作品部門決選投票の開票。4) 論文部門・作品部門受賞候補の内定。5) 授賞理由書の作成。6) 表彰委員会に対する報告。7) 来年度委員会構成・運営について。8) その他。

(47) トンネル工学委員会調査小委員会 (43.4.16) 出席者: 関係者9名。議事: トンネル標準示方書改定にともなう調査編の条項, 条項の表題について審議が行われた。

(48) 会誌編集委員会特集号登載座談会 (43.4.17) 出席者: 関係者13名。議事: 特集・建設機械のうち, 座談会「建設機械をつくる人と使う人」実施。

(49) 大土木教育委員会第15回幹事会 (43.4.17) 出席者: 林委員長, 高橋幹事長, ほか8名。議事: 1) シンポジウム開催について; ①予算, ②運営方法, ③配布資料。2) 学会誌掲載原稿の件。3) 今後の開催予定。

(50) 異形鉄筋設計例改訂小委員会担当者打合せ (43.4.17) 出席者: 関係者9名。議事: 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例改訂審議。

(51) 第3回表彰委員会 (43.4.18) 出席者: 富樫委員長, 酒井副委員長, 飯吉功績賞主査, 高橋技術賞主査, ほか10名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 功績・技術両賞決選投票の開票・決定。3) 論文賞選考委員会選考結果報告・決定。4) 吉田賞選考委員会選考結果報告・決定。5) 田中賞選考委員会選考結果報告・決定。6) 功績・技術両賞の選考経過ならびに授賞理由の作成。7) 来年度の構成・運営について。8) その他。

(52) 第7回トンネル工学委員会設計小委員会 (43.4.18) 出席者: 伊吹山委員長, ほか12名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 「第48条覆工の設計の厚さ」より「第55条付属設備」まで審議検討。

3) 今後の作業方法について検討。4) ルーフボルト分科会設置について。

(53) 第1回プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会 (43.4.19) 出席者: 国分委員長, ほか40名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 委員会構成について。3) 改訂の方針について。4) 運営方法について。5) その他。

(54) 昭和43年度第1回原子力土木技術委員会 (43.4.19) 出席者: 左合委員長, ほか13名。議事: 1) 経過報告。2) 幹事の選任。3) 運営方法について。4) 文献項目新設について。5) 講演「原子力施設の安全性について」左合委員長(都立大学)。

(55) 出版企画委員会測定編集小委員会幹事会 (43.4.19) 出席者: 高田委員長, ほか5名。議事: 1) 事務報告。2) 原稿査読の件。3) タイトル決定の件「建設技術者のための測定法」とする。4) 夏期講習会の件。

(56) 論文集編集委員会第1部会 (43.4.10) 出席者: 西村委員長, ほか7名。議事: 1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) 委員交代の件。4) その他。

(57) 論文集編集委員会第2部会 (43.4.4) 出席者: 嶋部会長, ほか5名。議事: 1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) 委員交代の件。4) その他。

(58) 論文集編集委員会第3部会 (43.4.4) 出席者: 山口部会長, ほか15名。議事: 1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) 委員交代の件。4) その他。

(59) 論文集編集委員会第4部会 (43.4.4) 出席者: 神山部会長, ほか10名。議事: 1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) 委員交代の件。4) その他。

(60) 論文集編集委員会部会長会 (43.4.11) 出席者: 西村, 嶋正副委員長, 神山部会長, ほか3名。議事: 1) 各部会報告。2) 論文集第154号および第155号掲載論文の決定。3) 委員の交代について。

### ◎その他

(1) 岩の力学研究連合委員会(仮称)幹事会 (43.3.4) 出席者: 岡本委員長, ほか10名。議事: 1) 経過報告。2) 幹事の選任。3) 運営上の諸問題について。4) 予算案について。5) 規定案について。6) 国際岩の力学学会(I.S.R.M.)について。

(2) トンネル視察団米國班シンポジウム打合せ (43.3.8) 出席者: 関係者10名。議事: 第4回トンネル工学に関するシンポジウム米國班講演題目, 講演者, 時間割の作成。

(3) 岩の力学研究連合委員会(仮称)

幹事打合せ (43.3.14) 出席者: 関係者8名。議事: 1) 経過説明。2) 規定案について。3) 国際岩の力学学会会員募集について。

## 支部だより

### ○北海道支部

(1) 第6回幹事会 (43.2.20, 於支部会議室) 出席者: 伊藤幹事長, ほか8名。議事: 研究発表, 講習会準備について。

(2) 昭和42年度年次研究発表会(43.2.26) 会場・札幌市民会館。記事: 1) 発表件数38編。2) 入場者180名。3) 発表論文集刊行。

(3) 昭和42年度年次講習会 (43.3.5, 於札幌市民会館)

講習科目:

- 1) 河川汚濁の解析 北大 丹保憲仁
- 2) 港湾関係模型実験における最近の手法 北大 尾崎 晃
- 3) 多目的ダムの自動制御について 北大 山岡 勲
- 4) 河川における流量時系列の解析方法 北大 岸 力

講習テキストの刊行(1冊会員300円一般400円)残部あり。

(4) 支部奨励賞選考委員会 (43.3.29, 於支部事務局) 出席者: 関係者3名  
選考論文:

- 1) 変断面河道に現われる特異点の検出とその流量の増減に伴う変動について 北海道 浅野 優
- 2) 乾ドック拡張工事の一例について 鹿島建設 川村政良
- 3) 3径間連続逆ランガー桁の振動について 函館ドック 瀬谷松治・浅野幸雄
- 4) 曲線格子桁の横桁本数による荷重分配性状について 北大 稼農知徳・佐伯 昇

(5) 第7回幹事会 (43.4.11, 於支部会議室) 出席者: 伊藤幹事長, ほか9名。議事: 1) 42年度事業と決算。2) 42年度支部通常総会について。3) 43年度支部改選役員投票の開票。4) 新刊行物の残部頒布について。

(6) 会計監査 (43.4.16, 於支部事務局)

出席監査員: 高木陽一, 立会・伊藤幹事長

(7) 第3回商議員会 (43.4.18, 支部会議室) 出席者: 黒地支部長, ほか16名。1) 42年度事業と同決算について。2) 42年度会計監査結果について。3) 改選委員の選挙結果について。4) 42年度支部通常総会について。5) 支部奨励賞選考結果報告。

(8) 42年度支部通常総会 (43.4.23, 北海道建設会館) 議事: 1) 42年度事業報告。2) 同決算報告。3) 会計監査報告。

4) 支部奨励賞授与。5) 43 年度支部役員改選結果の発表 (下記のとおり)。6) 映画: 白い城壁 50 分。

(9) 昭和 43 年度支部役員名簿

① 改選新役員・任期: 昭和 43 年 4 月～45 年 4 月・支部長は 44 年 4 月まで

◎は評議員

- 支部長 大橋 康次 北海道電力(株)  
 商議員 石井 郁夫 小樽市土木部  
 ◎尾崎 晃 北海道大学工学部  
 小田島政次 北海道開発コンサルタント(株)  
 小川 博三 北海道大学工学部(再)  
 重松 治 日本鉄道建設公団札幌支社(再)  
 ◎高瀬 正 大成建設(株)  
 中崎 昭一 函館土木現業所(再)  
 中村和太吉 開発局建設部  
 長谷川 守 (株)田中組土木部  
 ◎前口 正蔵 北海道電力(株)土木部  
 峰村 芳朗 国鉄道支社企画室  
 森田 健造 室蘭工業大学  
 柳川 憲壽 旭川開発建設部  
 監査 倉橋 努(株)中山組

② 留任役員・任期昭和 42 年 4 月～44 年 4 月まで

- 商議員 ◎伊藤 健二 札幌市水道局給水部  
 伊藤宗夫 北海学園大学工学部  
 岡田 光夫 札幌市建設局土木部  
 紙谷 卓二 道土木部都市計画課  
 ◎栗林 隆 開発局港湾部  
 小寺 一卓 道土木部  
 重松 学 釧路開発建設部  
 田中 一郎 開発局港湾部港湾計画課  
 ◎当銀 清一 札幌工業(株)土木部  
 伊達 健次 北海道電力(株)土木部工事課  
 長田 末治 鹿島道路(株)札幌支店  
 長沼 典興 (株)大林組札幌支店  
 小竹 豊 国鉄札幌工務局  
 古谷 浩三 開発局土木試験所  
 和田 清隆 岩倉組土建(株)  
 監査 音羽 敬三 開発局建設部河川計画  
 商議員 28 名 (内 6 名評議員を兼任)  
 監査 2 名

◎関西支部  
 商議員 28 名 (内 6 名評議員を兼任)  
 監査 2 名

(43.3.27～28, 大阪科学技術センター)

主催 土木学会関西支部

協賛 { 日本建築学会近畿支部  
 土質工学会関西支部

題目と講師

1. 総説 京都大学教授 医博 庄司 光
  2. 騒音の測定法と測定計器  
 日本大学教授 理博・工博 守田 栄  
 神戸大学教授 工博 畑中 元弘
  3. 振動の測定法と測定計器  
 神戸大学教授 工博 畑中 元弘
  4. 騒音公害の実態  
 大阪市総合計画局公害対策技術課長 谷川 敏夫  
 神戸市衛生局主幹 医博 ○花田 完五  
 京都大学教授 医博 山本 剛夫  
 代理・京都大学 中村 隆一  
 国鉄山陽新幹線工務局次長 吉村 恒
  5. 振動公害の実態  
 京都大学教授 工博 後藤 尚男  
 国鉄大阪工務局次長 杉浦 弘  
 立命館大学教授 工博 ○島山 直隆  
 神戸市衛生局主幹 医博 花田 完五  
 神戸市土木局道路部補修課長 横山 実  
 パネル討議(公害の実態)  
 座長・京都大学教授 工博 後藤 尚男
  6. 騒音の影響と許容値  
 京都大学教授 医博 山本 剛夫
  7. 振動の影響と許容値  
 福井大学教授 工博 鳥海 勲
  8. 公害防止条令  
 大阪市総合計画局公害対策部技術課長 谷川 敏夫
  9. 騒音の軽減対策  
 京都大学教授 医博 庄司 光  
 京都大学教授 医博 ○山本 剛夫  
 国鉄山陽新幹線工務局次長 吉村 恒
  10. 振動の軽減対策  
 福井大学教授 工博 鳥海 勲  
 京都大学教授 工博 島 昭治郎  
 (株)大林組技術研究所振動研究室長 ○渡辺 清治
- パネル討議(軽減対策)  
 座長・京都大学教授・医博 庄司 光  
 参加者: 331 名

参加費会員: 1300円, 非会員: 2000円

(43.3.27, 大阪科学技術センター) 参加者: 18 名。

(3) 講師懇談会(42 年度行事各講師招待 43.3.28, 大阪科学技術センター) 出席者: 25 名。

(4) 第 12 回幹事会(43.4.17, 好文倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか 10 名。

(5) 第 23 回騒音振動委員会(43.4.16, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 9 名。

(6) 騒音振動委員会幹事会(第 20 回)(43.4.16 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 3 名。

(7) 昭和 43, 44 年度騒音振動委員会委員委嘱

- |     |       |                      |
|-----|-------|----------------------|
| 委員長 | 庄司 光  | 京都大学                 |
| 委員  | 岩津 潤  | 大阪市立大学               |
|     | 上林 達郎 | 阪神高速道路公団             |
|     | 片山 重夫 | 近畿地建第二阪神国道工事事務所      |
|     | 金盛 弥  | 大阪府土木部河川課            |
|     | 杉浦 弘  | 国鉄大阪工務局              |
|     | 竹中 弘起 | 日本道路公団大阪支社           |
|     | 中井喜一郎 | 神戸市臨海開発局             |
|     | 島 昭治郎 | 京都大学                 |
|     | 花田 完五 | 神戸市衛生局               |
|     | 森田 長雄 | 京都市計画局               |
|     | 山田 善一 | 京都大学                 |
|     | 吉村 恒  | 国鉄山陽新幹線工務局           |
|     | 渡辺 清治 | (株)大林組技術研究所振動研究室     |
| 幹事長 | 畑中 元弘 | 神戸大学                 |
| 幹事  | 後藤 尚男 | 京都大学                 |
|     | 駒田 敬一 | 近畿地建第二阪神国道工事事務所大正出張所 |
|     | 谷川 敏夫 | 大阪市総合計画局公害対策部        |
|     | 鳥海 勲  | 福井大学                 |
|     | 島山 直隆 | 立命館大学                |
|     | 山本 剛夫 | 京都大学                 |
|     | 横山 実  | 神戸市土木局道路部            |

編集後記

会員の皆さんの暖い支援と寛容により無事 2 ヶ年の委員長の重責を果させて頂き感謝にたえません。会誌の編集は土木界の反映であるだけに、最近の変動に対処するには数々の問題点にぶつかりました。何かにつけ各編集委員にできるだけ相談したところ、各委員は新感覚と議事運営のこつを私以上に身につけたばかりで、お陰で楽しい議論につつまれながら焦点をしぼることができました。地方支部から有力委員が毎回出席され、東京在住の委員も拍車をかけられたことは全国的な地盤にたって編集する立前から嬉しいことでした。息切れしないようにと先輩から忠告を受けると、特集、依頼原稿、講座その他について足を踏み入れてしまいましたが、これも時代の要請でもあり、かえって若さに溢れる編集委員・幹事・事務局員のエネルギーの発露であろうとともに楽しい苦勞を致

しました。ベテランの高橋 裕委員にも再々助け舟を出して頂いたり、幹事諸侯にはそれぞれ献身的な努力を強いたりして冷汗の至りです。土木学会という格調と伝統に助けられたことになりました。

次期委員長には森 茂氏(技術士, 東大 11 年卒)という大先輩にご出馬を頂くことになりました。2 年間の経験で最も苦勞したことを思いうかべ、前委員長である八十島先生や樋口さんや羽田専務理事にご相談し引張り工作に成功したことは自ら有終の美とと思っている次第です。編集委員も半数交替致しますので、退陣する委員を代表し会員の皆様方や学会各位の皆様にお礼とご挨拶を致させて頂きます。

なお本号は、森新委員長登場第 1 号として建設機械の特集を行ない機械技術者との接触につとみ土木施工技術者のあるべき姿を把えようと致しました。(増岡康治・記)